

1年 絵文字作り

本授業では、黒塗りのボードをニードルで引っかいて下地を出し、削ったところに色を重ねる「スクラッチ技法」に取り組みました。生徒たちはそれぞれ漢字を一字選び、前期に学んだレタリングを生かして文字を美しくデザインするとともに、その漢字の意味を表すイメージも描き込んで、文字と絵を一体的に構成しました。

題材のねらい

- ①ニードルや彫刻刀、カーボン紙などの用具の生かし方などを身に付け、意図に応じて工夫して表す。
(知識・技能)
- ②ニードルなどの用具の特性から制作の順序を考えながら、見通しをもって表す。(知識・技能)
- ③伝える相手や内容などから主題を生み出し、分かりやすさと美しさなどとの調和を考え、表現する。
(思考・判断・表現)
- ④造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げること。(鑑賞 思考・判断・表現)

授業の流れ

授業時数	授業の中でやったこと
1時間目	どの漢字にするか考え、アイディアスケッチ
2時間目	アイディアスケッチ
3時間目	アイディアスケッチ 完成
4時間目	スクラッチボードに下書き
5～12時間目	下書きをもとにニードルまたは彫刻刀で削る。 削り終わったら絵の具を使って着彩する。
13時間目	鑑賞会
使ったもの	スクラッチボード・カーボン紙・トレーシングペーパー・ ニードル・彫刻刀・アクリルガッシュ・ネームペンなど

生徒たちのアイデアスケッチ(1～3時間目)

